

## パブリックコメント 提出意見

【提出者数】 66人

(FAX:9人 メール:10人 市ホームページ:19人 LINE:21人 郵送:4人 窓口:3人)

【意見件数】199件 ※1人の意見を内容(基本方向)ごとに分け、1件としてカウント

(基本構想:7件 健康・医療・福祉:7件 子育て・若者・教育:32件 自然・環境・エネルギー:22件 都市基盤・防災・安全:48件 伝統・文化・生涯学習:16件 地域経済:17件 コミュニティ・共創:19件 行政経営・行政サービス:15件 共通する視点:1件 全般:15件)

No.	基本方向	施策分野	意見
1	基本構想	—	<p>現在の青梅市に不足しているものは、「チャレンジ」する意気込みと感じています。市民と行政が、現状維持では青梅市の人口減少と衰退へ進んでしまうという危機感を共有するためには「持続可能なまち」という表現では不足と感じます。また、御岳山等の自然環境も確かに大切ですが、小曾木・成木地区山林の「あそびば」としての活用、連なる飯能美杉台住宅街や飯能駅（池袋まで電車1時間弱）とのアクセスなど考えると御岳山に限定しなくともよいように思います。</p> <p>例文：<u>豊かな自然と都市機能が調和するチャレンジあふれるまちづくり</u>            美しい山並みや清流を活かし、みんなが心身ともに快適に暮らせる持続可能なまちを目指しチャレンジします。</p>
2	基本構想	—	<p>①豊かな自然環境の保全をはかり食とエネルギーの地産地消と自給率の向上をはかり持続可能なまち            ②多様性を認め合い、みんなが安心安全に暮らせる住みたくなるまち            ③学びも仕事も文化も福祉も自由に活動により経済活動もできるまち</p> <p>*原案と従来の理念に歴史と文化の継承という表現が使われ続けてきたが、これは、あえて看板としてあげなくても青梅市民には認知されているので、これからの青梅の理念としては、入れないで①から③を提案します。</p> <p>郷土に対する愛着と誇りを持ちというのは、古くから青梅に住んでおり生まれも育ちも青梅という人達には、通用するが他市町村等からの移住者からすると青梅駅前周辺の昔の生業は、伝統文化としての実感はなく青梅マラソンなら知っているねという認識が多くなっています。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
3	基本構想	—	<p>基本構想の位置づけ</p> <p>・トップメッセージと3つの基本理念は、英文も含めて正式なものとして、公開する。基本構想はだれに向かっているメッセージかを考えると、現在の市民、市内業者、行政などだけではなく、10年後の青梅に魅力を感じて青梅に移住する人、青梅で事業を展開する企業、及び青梅を応援する個人団体に向けてのメッセージの発信、情報提供であるべきである。この将来の青梅市民、関係者に向けての視点は、今後の成長に必要なだと思います。英語表記は、この視点で必要なものの一つだと思います。</p>
4	基本構想	—	<p>基本構想骨子案の私見</p> <p>・美しい山と溪谷に抱かれ、東京に暮らす青梅 → (世界の青梅)</p> <p>①豊かな自然、歴史と都内へのアクセスで、個人の生活を充実させる</p> <p>②資源と立地を活用して、世界とつながることで、50年後の産業を生み出す</p> <p>の2つの視点での将来像を描き、10年構想はその一步とする。基本理念でその向かう姿を明確にする。</p> <p>・それぞれの人にとっての目指す姿・課題・計画の3点が、理解できる形にまとめる。</p> <p>目指す姿と課題の共有が、一番重要だと考えます。特に、これから青梅市民、青梅の企業になる人にとっては、なぜ他の市でなく、青梅が良いのかを明確にして、情報発信していくことが必要です。</p> <p>—今の住民にとっての目指す姿と、将来の住民にとっての姿。</p> <p>—生活する場としての青梅、事業を行う場としての青梅。</p> <p>—現状の資源を維持保全する活動と将来の資源獲得への活動。</p> <p>・外部の力を取り入れ活用する。</p> <p>今後の青梅の成長を考える上で、外部の力の活用がポイントになる。ありたい姿は、今の住民が決める。しかし、その実現は、外部のリソースを活用して達成する。そのためには、求める、新規住民、外部人材や知恵、そしてお金を明確にして、集める必要がある。欲しい人、知恵、金を明確にして、集めるアプローチを行う。</p> <p>—青梅に来たい10年計画、青梅を応援したい10年計画、青梅に投資したい10年計画。</p> <p>そんな総合長期計画を知恵を出し合って作る1年にしてほしい。</p>
5	基本構想	—	<p>基本理念に「あそぼうよ！青梅」の姿勢を基本にという文言が入っていますが、これは理念としては違和感あり、10年の総合長期計画の理念として適切でないため削除が妥当します。</p>
6	基本構想	—	<p>基本理念で「あそぼうよ！青梅」の意味がいまいわかりません。ここでの“あそび”とは何でしょうか。市政との関わりで答えてもらえませんかでしょうか。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
7	基本構想	—	「美しい山と渓谷に抱かれ、東京に暮らす 青梅」に一言 これは、東青梅以西の青梅のイメージで、台地の上に多くの人口をかかえるようになった現在にふさわしい文言ではないと思います。 気軽に50円か100円握って子どもでも遊びに行けるわけではなく、抱かれているイメージをもつ市民は半数以下では？この文言を書くなら、市内どこからでも市民なら子どもから高齢者まで気軽にアクセスできる手段や安全な居場所を具体化するなどの計画がなければ、言葉は絵空事。かえって、都内からのアクセスしやすく、観光地化して日常生活に困っているという声すらよくお聞きします。「美しい山と渓谷に抱かれ、自然の土・水・木にふれ、東京にくらす」では？ 「あそぼうよ！青梅」には、少し魅かれるものもありますが、具体的にどういう基本姿勢なのか見えない。
8	健康・医療・福祉	医療体制	・5Gを活用したオンライン診察の導入 ・外国人介護人材を積極的に受け入れるべく研修施設を創設
9	健康・医療・福祉	医療体制	西多摩のリーダーとして、「西多摩こども病院」仮称を新設し、東京都との支援を受け、青梅市で運営（場所は都の誠明学園内空き地利用）
10	健康・医療・福祉	社会保障	国民保険料や介護保険料が高すぎます。値上げせず、値下げできないか検討してください。
11	健康・医療・福祉	相談体制	相談しやすい環境設定と専門家チームの編成 ・子育てひろば等における対面相談 ・電話、オンラインでの相談 ・専門機関での相談
12	健康・医療・福祉	相談体制	人生100年時代を良く抜くための各世代別（特に、50代、60代、70代）のウェルビーイング・アドバイザーの育成
13	健康・医療・福祉	高齢者福祉	80歳以降の見守りを、高齢者福祉（包括支援）、防災、民生委員などがバラバラに行っていて、一体化が進んでいない。 ⇒例文：◎高齢者見守り事業の一体化推進
14	健康・医療・福祉	高齢者福祉	市には3か所ありましたが、現在閉鎖されています。私も楽しみにしていたのですが、他の人と話をしたとき、リハビリを兼ねて外出することで健康維持と張り合いがあったが、残念とっていました。また、バス路線がなく不便と言っていました。健康寿命を縮めることを止めることです。却って、健康を害してコストがかかってしまいます。

No.	基本方向	施策分野	意見
15	子育て・若者・教育	妊娠・出産支援	<p>&lt;産前・産後ケア&gt;</p> <p>①空白期間（切れ目）のない全戸調査とフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後に生ずる様々な困難（病気・経済・孤立・人間関係・発達・障がい・多胎・年子・外国籍等）への迅速な対応</li> </ul> <p>②「こんにちは赤ちゃん事業」の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師か保健師・地域の民生児童委員・子育て支援員等から成る専門チームの立ち上げ</li> </ul> <p>③産後メンタルヘルスケア自然体験教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後4カ月～1年半対象</li> <li>・産後のメンタル不調予防および心から笑顔で過ごせる地域とのつながりづくりプログラム</li> </ul>
16	子育て・若者・教育	子育て支援	<p>&lt;子育て家庭への支援&gt;</p> <p>全市民センターごと（歩いて行ける範囲）に以下の設置</p> <p>「子育てひろば」「子ども食堂」「フードパントリー」「多世代交流の場」</p>
17	子育て・若者・教育	子育て支援	<p>これからの青梅市（日本）を支える子ども子育て事業が高齢者事業よりも後回しになっている。まちづくりの基本方向を読んでも子どもを増やすことはあきらめているように読めてしまう。市民が何をして、行政には何をして欲しいのかお互い理解し進めることも含めた方向としたい。</p> <p>⇒例文：◎青梅で子育てしたくなる環境づくり ◎子育て世代に寄り添う環境整備</p>
18	子育て・若者・教育	子育て支援	<p>小学校と隣接して、小学校までは（希望者には）学童利用できるようにする。</p> <p>30代、40代共働き夫婦の支援。</p>
19	子育て・若者・教育	子どもの居場所	<p>子育てしやすい街で東京都で1位を目指す。人口減を無くす為。具体的には、子供の館として、広い場所に屋内施設や農産物直売所、地元食材のレストランを併設する。誰でも安心できる場所を創る。屋外では緑豊かな環境で体を動かして遊べるようにする。</p>
20	子育て・若者・教育	子どもの居場所	<p>青梅市には子供たちが自由に遊べる広場（原っぱ・遊具）が少ないように思います。子育て世代のためにこれらを各地区に整備して、若い世代に住んでもらうことが市の活性化に繋がると思います。</p>
21	子育て・若者・教育	子どもの居場所	<p>児童館の設置</p>
22	子育て・若者・教育	子どもの居場所	<p>「若者の居場所づくり」という項目に目が留まりました。「児童館」や「青年の家」、ダンスやバンドができるスタジオのような場がほしいと思います。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
23	子育て・若者・教育	子どもの居場所	青梅市に在住して7年ほど経ちます。結婚を機に越してきました。自然も多く住みやすい街だと思っておりますが、現在住んでいて思うことは子ども達の放課後の居場所の少なさです。身近に公園などがなくどうしても遊ぶ場所は校庭、もしくは自宅となっている状況です。放課後に子ども達が集まれるような場所がもっとあったらと思います。例えば自治会館をなど決まった曜日だけ解放するなどして欲しいです。特に長期休みにそのような対応をしていただけると助かります。近所にあった公園も、近くの保育園の職員の方の駐車場になってしまったりと、こどもが気軽に集まれる場所がどんどん少なくなっているように思います。ですので、こどもが気軽に放課後に集まれる場所、またそこで地域の方と子ども達との交流の場がもっとあったらと思います。よろしく申し上げます。
24	子育て・若者・教育	子どもの居場所	市内に児童館はありません。青梅市は市民センターがその役割になっていると答えているが、会議室等は予約しなければ使えない。休日、平日の午後など、必ず居場所として使えるようにすべきです。また、ボランティア団体には(子どもの居場所等関係団体)優先的に使用できるようにしなければなりません。青梅市が積極的に居場所づくりを考えているとは全く思えません。中学生・高校生がいつでも使えるように、長期の休みには学習だけのためでなく、おしゃべりできるような場所を提供するのが市の役割ではないでしょうか。ふらりと来ても使える(予約なし)場所として活用できるはずです。
25	子育て・若者・教育	子どもの居場所	子育てしやすいまちづくりで、「子ども・若者の居場所づくり」を急いでほしい。青梅の自然を活かすこと。全都で唯一ないという児童館を早急に作ってほしい。
26	子育て・若者・教育	学校教育	青梅市立第七小学校・第六中学校に入学する児童・生徒数が20名程度まで増加(短期的には学校のシステムによる改善、長期的には対象人口増加により改善)
27	子育て・若者・教育	学校教育	「特色ある学校作り」として、七小・六中が同一校舎で教育を行う小中一貫校の検討、特色ある学校に向けた教員配置、更に七小・六中・小曾木市民センターが同一建物で運用される地域拠点化の検討、地域の特色・地域力による教育環境の向上、市民センターの地域NPO運営化
28	子育て・若者・教育	学校教育	子どもの人数は減っているが、増やす努力をしつつ、学校を安易に減らさず、地域の拠点に。
29	子育て・若者・教育	学校教育	青梅総合高校を中高一貫校にしてはどうでしょうか。近年、青総は人気・進学実績共に、上昇中です。農学系の面白いカリキュラムが多く、良い先生も多い様子が伺えます。都会で暮らしていても、青梅が好きで、Uターンで家を構える人は多いですが、1番のネックが子どもの教育と感じます。青梅地域の特性に合っている青総を中高一貫校にし、教育のボトルネックを改善することで、将来的に新しい産業を作ってくれるような人材も出てきてくれるでしょうし、地域の活性化につながると思います。

No.	基本方向	施策分野	意見
30	子育て・若者・教育	学校教育	教育環境では、中高一貫校を作って頂きたいです。現在、立川が1番近いですが、小学生の子供を立川まで通学させるのは親としては躊躇します。青梅市内に、1つあるだけでも、教育に力を入れているのが分かるので、是非、作って頂きたいです。
31	子育て・若者・教育	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校での理数系教育、伝統教育（書道、武道など）を強化し次世代の街を担う人材を育成</li> <li>・小中高生を中心にドイツ語学習機会を提供、国際人材を育成</li> </ul>
32	子育て・若者・教育	学校教育	<p>○「小中一貫教育のモデル校導入」について 青梅市の小中一貫教育とは何でしょうか。またそのねらいは何ですか。その理解は市民や保護者の中にあるとは思えません。モデル校導入は拙速です。</p> <p>○「少人数学級のさらなる促進」を挿入 青梅市は「少人数学級の実現」市議会決議を全員一致であげられました。とても立派だったと思います。おかげで35人学級が実現いたしました。小学校のみではありますが。そういうもとで、今ここで掲げるテーマは、そのさらなる促進だと思います。中学を含めてさらなる少人数学級の促進を、国や都に引き継ぎ要請していくことだと思います。何よりも独自に市財政から生み出した予算で、“一步、さらなる少人数学級の促進”を踏み出すことだと思います。</p>
33	子育て・若者・教育	学校教育	教育にもっとお金をかけて欲しい。
34	子育て・若者・教育	教育施設	第二小に息子二人が通っています。トイレが臭く、また少し怖いからトイレにあまり行かないと言っていました。みんなが何年も使ってるから仕方ないよ、トイレは我慢しないでちゃんと行ってねと伝えてはいますが確認できるわけではないので心配です。改装までは無理でも、市内の学校トイレの消臭や明るく見せる工夫などをしてもらえるといいなと思います。
35	子育て・若者・教育	教育施設	小中学校が老朽化してきています。年次計画をたてて、しっかり補修を。
36	子育て・若者・教育	教育施設	特別教室と体育館に早急にエアコンが必要です。とてもひどい暑さの中で具合の悪くなる人も出ています。
37	子育て・若者・教育	学校給食	学校給食費が値上げにならないように補助をお願いします。
38	子育て・若者・教育	学校給食	学校給食のプレートはひどいです。お盆に当たり前の皿やお椀で食事ができるように是非してほしい。

No.	基本方向	施策分野	意見
39	子育て・若者・教育	特色ある教育	<p>1. 自然体験・農業体験 風の子太陽の子広場、あまがさすの森(成木)をはじめとする山林、地域の田畑等での自然遊びおよび森・里山の恵みを利用したCO2削減・持続可能な循環型の暮らしについての学習、野菜作り等</p> <p>2. 文化体験・読書の推進 ・各小中学校での生の舞台鑑賞 ・各小中学校でのブックトーク等の実施</p>
40	子育て・若者・教育	特色ある教育	<p>・高校（農林実業科含む）専門大学などの再誘致により教育施設の増加による高等教育機会の増加</p> <p>・青梅の特色を生かした学校経営は、このカテゴリーに入るべき項目として主旨不明であり必要性が疑問</p> <p>・ICT教育の推進が教育レベルを高めるとは言えないし、教育格差を生む仕組みに繋がると指摘されており、多様性を学ぶ場として児童館や交流館を開設する。</p>
41	子育て・若者・教育	特色ある教育	自然の環境の中での、語学学校を開設（英語・中国語・韓国語等）外国人の先生を家族ごと招致（場所は、生徒が少なくなった学校内）
42	子育て・若者・教育	特色ある教育	市内に大学や専門学校などがあると、他地域から若い人を呼び込むことが可能になりますね。誘致などは考えてはいませんか？
43	子育て・若者・教育	発達支援	気軽に発達の相談が出来る場所(今もあるとは思いますが)発達支援センターが子育て支援センターの中にあってもいいのではないか。乳幼児期、集団生活が難しい等、病院の診断がなくても相談出来たり、その子に合った乳幼児期に大切な発達支援が出来る場所があって欲しい。
44	子育て・若者・教育	人権教育	<p>・いじめ防止対策</p> <p>・全小学校での「CAPワーク」全中学校での「デートDV講座」の実施</p>
45	子育て・若者・教育	貧困対策	貧困格差による教育格差をなくす支援の充実を追加
46	子育て・若者・教育	経済的負担軽減	子供手当を増やして市民税を減らして下さい。
47	自然・環境・エネルギー	環境保全・美化	多摩川再生！冷たい水の放水無くして、工業用水の排水を無くす。多摩川の魚を増やしましょう。
48	自然・環境・エネルギー	環境保全・美化	多摩川の清流を保って欲しいと思います。ここ数年、多摩川の濁りを感じます。上流で便器など産業廃棄物が捨てられていた話も聞いています。

No.	基本方向	施策分野	意見
49	自然・環境・エネルギー	環境保全・美化	多摩川を綺麗にして欲しい。ゴミで汚すぎる。業者が不法投棄をしているという話をよく聞く。
50	自然・環境・エネルギー	環境保全・美化	自然環境保全として従来国策としても人口植林として積極的に杉が採用されてきましたが、線状降雨帯、集中豪雨などの異常気象と大規模地震等により、地滑り倒木により大規模土石流災害が近年多発しています。その多くは、上記条件と地形的な関係で大規模災害になっています。従って、自然環境保全の為に人口植林を含めて見直しを行うことが、防災につながり自然環境保全にもつながることを計画に入れることが必要です。
51	自然・環境・エネルギー	環境保全・美化	多摩川だけでなく、市内に流れる霞川は、散歩のコースとして多くの方が利用されています。しかし川の中にはゴミが捨てられ、ブタクサが繁殖しています。ボランティア団体だけがゴミを拾い、ブタクサ刈りをするだけではとても足りません。第三小学校、今井小学校の総合学習では、児童が川に入り生き物観察をしています。市民、保護者皆で川の清掃を行う必要があります。青梅市は声だけあげてはだめです。
52	自然・環境・エネルギー	森林整備・活用	青梅・奥多摩 森林の杉を伐採。広葉樹に植替え。
53	自然・環境・エネルギー	森林整備・活用	山の地滑りしたところに杉を植えるようですが、広葉樹に替えていってはどうでしょうか。景観で長期的に人を呼べるようにお金を使ってほしいです。
54	自然・環境・エネルギー	森林整備・活用	杉の間伐材等を使用したモノ作りを積極的に実施し、公共施設・東京都内での販売等・青梅市の70%を占めている、森を売り込む。
55	自然・環境・エネルギー	自然との共生	川沿いの遊歩道の整備。市内を歩いてみるとウォーキングやランニングする人の数の多さを感じる。特に年配者のウォーキング層が多い。健康寿命を高めるために市はインフラ整備に力を注ぎ、青梅マラソンのブランドも生かしてランナーやウォーキングが好きな層の移住誘致に取り組むべき。特に多摩川沿いの遊歩道が全く整備されてないのには移住してきて驚いた。自然が売りというが全く売りにできてない。市役所から多摩川上流方面へ10Kmほどの川沿いの遊歩道を作り、その周辺には店舗やスーパー銭湯などを誘致しておけば、高尾に似た形で週末の観光客を含めて青梅を楽しめる余地が大きいはず。
56	自然・環境・エネルギー	自然との共生	自然豊かな青梅市だからこそ、市民が自然を守り共存して気軽に楽しみリラックスできる癒しの場所を作る。もちろん近隣からも大勢訪れてもらうのも結構でしょう。森や林を整備して、樹木と共存させてお花畑や広場・遊具、ベンチを作り、散策道や家族連れが楽しめる空間を作る。青梅市は豊かな山々が身近にありハイカーには魅力あるところですが、しかし、そんな自然を見てるだけで楽しんでいる市民がどれだけいるか疑問です。

No.	基本方向	施策分野	意見
57	自然・環境・エネルギー	自然との共生	遊歩道の整備と充実 山岳部以外にも、平地（市街地内）や河川（霞川）沿いに遊歩道コースを指定し案内板やラインを引いて整備する。また日よけのあるベンチを設ける。低山（霞丘陵）にもコース整備する。
58	自然・環境・エネルギー	自然との共生	自然を尊重して学べる市であって欲しい。例えば長淵丘陵や他の丘陵を、走ったり自転車で競争したりするものでなく、散策できる控えめな歩道の整備をしていただきたい。子供らには自然を大切に作る心、大人には心身の健康増進に活かせると思います。
59	自然・環境・エネルギー	農との共生	私は、第7次青梅市総合計画基本構想骨子の豊かな自然と都市機能が調和したまちについて、次のように思います。青梅には現在も各地に田畑があり、採れた農作物を市民に提供するセンターもある。これを一層充実させる。市民農園を拡げ、住民同士のつながりと地産地消の輪を充実させる。これは人生100年時代に入った今、いかに健康で生きがいのある後半の人生をつくるかともつながっている。単に経済的な面だけでなく、豊かな人生（精神面）に深く関わっている。自分たちの手入れしている作物の生長する姿を見る喜びは大きい。それを子どもたちに提供し、給食で食べてもらえれば世代を越えた強いつながりもできよう。その土地、地域の伝統文化も自然と生活の中でつながっていくものと考えている。
60	自然・環境・エネルギー	生活環境	河辺駅と東青梅駅の喫煙所をなくしてください。毎回通るたびにタバコの煙がきてとても迷惑しています。河辺駅は駅前のあんなど真ん中に喫煙所を置く必要があるのでしょうか。東青梅駅の喫煙場所も毎日通るのでとても不快です。
61	自然・環境・エネルギー	生活環境	生産緑地がどんどん住宅になっているが、空き家も増えている。このズレをどうにかして欲しい。一度農地から住宅になると、再び農地に戻すことは非常に大変である。
62	自然・環境・エネルギー	生活環境	最近(ここ数年)、多分横田基地から飛んでくる飛行機の音がとても気になります。夜も聞こえ、特にウクライナ戦争が始まってからは、あの音を聞くと日本も戦時中なのかとゾッとします。安心して暮らせる青梅市になってほしいです。
63	自然・環境・エネルギー	景観	梅郷地区在住ですが、一般住宅への梅の木の植樹を推進して、梅のある景色を積極的に作っていくべきだと思います。私自身は新築で家をたてる際に、青梅の歴史へのリスペクトも込めて梅を植えました。消毒や役所への登録が必要なのかなど、不安がありました。ウェブサイトでは調べがつかず、自分で市役所に電話して、これらの必要が無いという確認はできましたが、青梅市として、キャンペーンを実施して梅の植樹の意識を喚起し、情報を公開し、少しでもよいから補助金など出したら良いのではないのでしょうか。 梅畑の一部が宅地になり、建設業が潤い、人が流入した分税収も増えたはずですから、青梅の貴重なレガシーであり、観光資源でもある、梅のある景色に還元・投資して欲しいと思います。
64	自然・環境・エネルギー	景観	神代橋の欄干の乗り越え防止柵を撤去して、もっと景観を意識したものに替えてほしいです。川が見えな過ぎて台無しです。

No.	基本方向	施策分野	意見
65	自然・環境・エネルギー	循環型社会	青梅郵便局設置のインクカートリッジ回収箱へ162個投入したとのことですが、SDGsへの貢献になり大事なことです。しかしながら、基本構想骨子案こんなまちを目指しますにありますように、住宅が立ち並ぶ市街地があることは、青梅市の唯一無二の特徴であり、持ち味でもあります。と掲げています。そこで少しばかり意見を述べさせていただきますがインクカートリッジも確かにSDGsへの貢献ですが小さな貢献です。失礼ですが、この程度の貢献は、私でも買ったお店に持って行き引き取ってもらっています。先程「住宅が立ち並ぶ市街地があることは、青梅市の唯一無二の特徴であり、持ち味」と言うことですが、国連総会で決められた、2030年までの達成を目指す、国際社会の共通目標であります、「17の目標」にあります、目標の11番目の「住み続けられるまちづくりを」目指して欲しい。ただ、我々一般市民は、どうすれば貢献できるか難しい問題です。行政がいかにしたら市民が感心をもっていただけのかを含めて検討していただきたい。また、SDGsの「17の目標」への青梅市の取り組みが分かりづらいので、「東京都」の取り組み方のように、具体的に示して欲しい。
66	自然・環境・エネルギー	エネルギー	市の間伐材をパレット燃料へと加工する工場創設、公共建築物などでの利用促進
67	自然・環境・エネルギー	エネルギー	エネルギーの自給自足に川を利用した小規模水力発電、太陽光発電、山林などの間伐材などの活用によるバイオマス発電の活用でマイクログリッド送配電によるエネルギーの地産地消が可能で自給自足の推進が地域経済の底上げになる。
68	自然・環境・エネルギー	エネルギー	木材を利用したバイオマス発電に取り組み、公共施設で使用する電力を先ずは、目指す。

No.	基本方向	施策分野	意見
69	都市基盤・防災・安全	土地利用	<p>10年後の青梅市にて、一市民として提案しました。明星大学跡地ですが、市長と市民懇談会の席で有権者の声を聴くと明言にて、再度コメントします。</p> <p>市長は中長期政策としてサッカー場思案を、対象地は25万坪、文教都計画地区です。成らば残り残地は如何様に。試算裏無き思い付き、無言です。市民として産学官連携での仮称先端技術開発センター 里山原風景構想を再三市議等に提案していますが何ら対話が有りません。議会質問も対案無き市議、行政安易に追随するだけです。何故購入、売ってくれ、買ってくれ、成らば金額は、未だ開示を頂けません。暗雲が漂っています。</p> <p>当方企画案、国内超大手世界的企業での地元雇用拡大、税収増、中心市街地活性化、大規模な環境保全ミュージアム案です。対象地の隣接、大規模用地は西武鉄道がお持ちですが、状況次第でのプロジェクト参加を。事業運用は西武鉄道グループにて。民間案件ですので、行政での財政負担皆無、禍根を残さないため、既に其れなりの行動を起こしています。何時でも門を開けてます。市民との公開質疑の場を頂けませんか。提案をします。</p> <p>あおる野市菅生地区 東海大菅生高グランド調整地区5500坪ですが市民にて岡山県内自動車教習所を誘致しました なぜ調整池に誘致できたか都との協議足掛け2年 建築審回対応にて協力を頂きました</p> <p>奥多摩方面高齢者運転教習生は小作駅からバスにて教習所前がバス停</p> <p>狭山市から新狭山駅前ホンダ狭山工場跡撤退跡地11万坪ですが小作の東芝 日立跡地での物流施設企業誘致は絶対避けたいと地元雇用促進 税収増 駅前課性化生産性企業誘致を受けましてホンダと交渉しています。</p> <p>坂戸氏 日高市から公共施設統廃学校跡地での企業誘致を依頼</p> <p>何故青梅市は民間見識者でのアドバイスを求めない</p> <p>黒沢碎石跡地 都計画指針 真逆の行政</p> <p>明星大学跡地計画は施工協力企業として地元金融機関 工事中での燃料 事務用品 施工企業 造園企業での緑地帯での梅 桜 アジサイ等四季感</p> <p>今回のパブリックコメント投稿も市民でのガス抜きでしょうか</p> <p>財政投資軽減化での産学企業誘致企画案 何故市長 市議団は協議拒否をするのか教えてください</p>
70	都市基盤・防災・安全	土地利用	<p>明星大学跡地、購入 Jリーグチーム発足。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
71	都市基盤・防災・安全	土地利用	<p>&lt;明星大学跡地の有効利用&gt;</p> <p>都立または国立にて、西東京国際医療大学(仮名)を設立。大学病院を置く事により学生が来る。近くには大学寮やアパートが出来て青梅市の人口が多くなる。青梅駅前の商店街にも学生が来るようになり商店街の活性化がはかれる。医療で安心な町、住みたい町ランキング、青梅市の知名度が良くなる。</p> <p>青梅市の中心が東へ行っているようですが、東に行っては勤めがさらに東へと移り福生や昭島方面へ流れてしまう。青梅市の中心を青梅駅にすることで青梅駅よりも西に住む人は青梅駅前で買い物ができるようになるので、青梅の西側にも人口増加の見込みが得られる。</p>
72	都市基盤・防災・安全	土地利用	明星大学は不便な場所にあるので、多額の費用をかけて購入する必要はないと思います。
73	都市基盤・防災・安全	土地利用	明星大学の跡地の利用など、無意味です。市民にとってあんな不便なところに施設を作っても、行く手段がなくては利用できません。市民センターをつぶすより、有効活用してほしい。
74	都市基盤・防災・安全	土地利用	<p>切実な重要問題として、「明星大学青梅キャンパスについて、将来活用を図る地域として位置づける」をやめてほしい。</p> <p>(理由)</p> <p>明星大学青梅キャンパスの土地は青梅市所有でしょうか。そうでなかったとしたら、購入の議論そのものが長期計画の10年間のテーマになるのではないのでしょうか。この間青梅市は公共施設の削減や国保料の値上げ、給食費の値上げなど「財政難」を理由に、市民に負担を強いてきました。また、小中学校の校舎やプールなどの老朽化も切実と聞いています。それらの建て替えなどを放置して、キャンパス購入などありえないと思います。購入問題を考えるなら、他の切実な問題を優先し、「10年かけた購入問題の議論」とすべきです。次世代を苦しめることは絶対にやめてください。</p> <p>※将来活用エリアから「明星大学青梅キャンパス」ははずしてください。お願いいたします。</p>
75	都市基盤・防災・安全	土地利用	明星大学青梅キャンパス跡地の購入等の話題を耳にしましたが、現時点で購入可能でも、維持していくのはかなりの高額な費用がかかると思います。市民生活に有益なものかどうか、十分ご検討ください。私は反対を表します。
76	都市基盤・防災・安全	土地利用	インター付近の開発や今度は明星大学跡地等大型開発に貴重な税金をつぎ込むことは止めて、3つの基本理念に沿って具体化してほしい。
77	都市基盤・防災・安全	土地利用	衰退する土地の整備。行政が買い上げすることも考慮し、青梅の緑を守る。

No.	基本方向	施策分野	意見
78	都市基盤・防災・安全	都市形成	人口減少に対応した都市形成となっておりますが、青梅市としては減少に歯止めをかける政策が長期計画の求められるところで、減少前提で進めること自体に違和感があります。ここでは減少をさせない計画を青梅市としては政策の前提にしないとまずいのではないのでしょうか。
79	都市基盤・防災・安全	都市形成	<p>・私は、第7次青梅市総合長期計画基本構想骨子の、まちづくりの基本方向の、都市計画基本方向の「●人口減少社会に対応した都市形成」について、土地を適材適所に運用し、土地の付加価値を伸ばすことを基本ポリシーとし、年々減少していく人口の流れを食い止める政策に以下のことを書きましたので、提案します。</p> <p>・商業地域および住宅地域に混在している官公庁施設、特に青梅線駅に近い官庁施設や学校教施設のなかで、移転または合併化(少子化対策)によって土地の運用転換を図り、周辺地域の活性化へ向けての改革をお願いします。</p> <p>・もう一点について、青梅インターチェンジ(以下、青梅IC)の周辺地区の可及的速やかに拠点整備をお願いします。ところで、青梅ICでの車の流れの問題です。青梅から出る場合は、車はスムーズに流れ問題は全くありません。反対に、青梅に入る場合に問題が発生しているのです。料金所は二カ所開いています。料金所を過ぎると、道路幅員は一車線に減少し、最初の信号機までの間渋滞が発生します。料金所手前から渋滞が発生する状態に遭遇することが度々あります。青梅ICを利用しているドライバーなら周知のことです。この点については、早急に解決していただきたくお願いします。</p>
80	都市基盤・防災・安全	中心市街地活性化	<p>青梅市を活性化するためには、現在ゴーストタウン化している青梅駅周辺の再開発が必要だと思います。おそらく観光で来られた方の多くは、青梅駅前のさびれた感じに「がっかり」されているのではないのでしょうか？</p> <p>活性化のためのキーワードとして「都心に近く自然がある青梅」と「スポーツの拠点としての青梅」であると思います。土日の朝の青梅線の下り電車は、登山客やハイカーなどでいっぱいです。本当に目を見張るばかりの多さです。こういう人たちは、行きも帰りも青梅駅では降りません。多少は、帰りに河辺駅で降りて「梅の湯」に入るくらいだと思います。登山やハイキングだけではなく、ランニング、トレイルランニング、ロッククライミング、自転車、カヌー、釣りなどいろんなタイプのスポーツを青梅で楽しめます。しかも、青梅は都心に近いという圧倒的なアドバンテージがあります。こういった健康維持のために登山やランニングをしている人たちや、スポーツ愛好家のための一大拠点としての青梅駅周辺再開発をお願いしたいです。</p> <p>具体的には、昭島のアウトドアビレッジのような商業施設、ランナーのための着替えやお風呂(あるいはシャワー)の施設、自転車をちょっと置いてお茶を楽しめるようなお洒落なカフェ、大きなリュックを置けるスペースがある居酒屋などです。その他、多摩川沿いにランニング専用の道を整備したり、自転車が安全に走行できるような道路作りができれば更に良いと思います。</p> <p>今のような「昭和レトロ」路線だけでは、絶対に活性化できません。「健康増進の街」としてのイメージを作るべきです。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
81	都市基盤・防災・安全	中心市街地活性化	周りを山々に囲まれ、多摩川が流れ、起伏に富んだ青梅市に住んで40年近くになりますが、今でも住んで良かったと思っています。しかしながら、青梅市は都下で一番早く高齢化社会が訪れると言われ、市の玄関口である青梅駅周辺はさびれて活気がなく残念ではありません。ハイカーが素通りするだけの豊かな自然だけでは活性化は難しいと思われます。どうすれば若い世代が青梅に住んでくれるか、どうすれば沢山の人が青梅を訪れるか、小生も高齢者の一人としてこれからの10年後の魅力ある青梅市に期待をしたいと思いコメントさせていただきます。
82	都市基盤・防災・安全	中心市街地活性化	青梅駅は市の玄関口です。そんな青梅駅前の再開発も含め、駅周辺を中心としたエリアの活性化を計ることが重要です。それにはリピーターを含む大勢の人々に来てもらい、そして、お金を落としてもらうことです。他のところの成功例も参考にしながら検討して頂ければと思います。
83	都市基盤・防災・安全	中心市街地活性化	都市基盤整備として青梅駅から東青梅駅間を中心市街地として何十年も投資を続けているが、地理的な特性や交通事情も含めて、今後改善することが見込まれない中で、貴重な資源投入の中心市街地を見直す必要があります。その為、河辺駅より東部の発展を阻害する要因であり、青梅市としても部分最適から全体最適の為の東部への中止を移す大胆な都市計画の見直しが必須ではないでしょうか。
84	都市基盤・防災・安全	中心市街地活性化	五年以内には、駅前には、13階のマンション、二階に巨大図書館！一階には、ショッピングモール。 向かいの長屋あとには、ショッピングモール。 元の図書館後には、青梅駅直結の温泉施設。ここで行政の仕事は、駅前ロータリーの充実。駅から直結で、ロータリーの立体化雨天時でも、バリアフリーで二階図書館迄行ける道を作る事。一階は、バス、タクシー乗り場の充実。
85	都市基盤・防災・安全	都市景観	日陰が欲しい 街路樹の剪定について 子供が1月に生まれて、初めて日陰のありがたさに気がつきました。青梅市は街路樹が沢山植っていますが、剪定が垂直すぎて、影ができません。もう少し影の面積が広がるような剪定をして、武蔵野市のような街路樹を目指して欲しいです。武蔵野市では車道も覆うような枝の豊かな街路樹に覆われた道が沢山あります。せっかく緑豊かな青梅ですので、道も緑で埋め尽くして欲しいです。
86	都市基盤・防災・安全	都市景観	・市街地の無電柱化、バリアフリー化を促進
87	都市基盤・防災・安全	住環境	空き家問題についての記載がない。現在10%を超えている空き家率はそのまま10年間放置すれば増加の一途。子どもを増やすためには、子育て世代の流入を推進する必要もある。市独自での予算の増加、条例制定での空き家を減らす意気込みが必要。 ⇒例文：◎人口減少社会に対応した都市形成⇒「◎社会形成に合わせた住居の確保」または踏み込むなら「◎空き家活用による子育て世代環境整備」

No.	基本方向	施策分野	意見
88	都市基盤・防災・安全	住環境	小曾木地区の空家の状況を把握し、危険空家とならずに活用される状況を作る（人口減の時代に小曾木地区に住みたい人は住める住宅を供給できる環境を作る）
89	都市基盤・防災・安全	住環境	空き家の活用。
90	都市基盤・防災・安全	住環境	<p>&lt;移住促進・小規模住宅の販売規制・省エネ住宅の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地付き空き家制度の活用により成木・小曾木地区への移住促進</li> <li>・小規模な建売住宅の販売を規制</li> <li>・三重窓など断熱対応のパッシブハウスの導入促進</li> </ul>
91	都市基盤・防災・安全	公園整備	永山公園のあたりから青梅駅付近に向けてジップラインを作りたい。日本の都市でジップラインができれば、観光で人が集まると思う。
92	都市基盤・防災・安全	公園整備	市内の公園に、有料でも良いのでドッグランを作してほしいです。
93	都市基盤・防災・安全	公園整備	ぜひ駐車スペースの確保できるドッグランを！猫の街として売り込むのもいいですが、より人と密接で、活動的で、将来性のまだまだある犬に優しい、果ては動物に優しい市として広報すべきです！設備がしっかりしていれば、他自治体から足を運ぶ方も見え、それが青梅市への転居につながるやもしれません。低料金なら有料にしても、いけると思います。どうぞ宜しくお願い致します。
94	都市基盤・防災・安全	公共交通	根ヶ布のみならず、坂の上までくるバスの運行
95	都市基盤・防災・安全	公共交通	高齢者が自家用車がなくても生活しやすいように買い物、病院などに行けるよう安価または無料で乗れるコミュニティバスを頻繁に走らせて欲しいです。
96	都市基盤・防災・安全	公共交通	交通不便地区をなくす為、ワゴン車の運行や予約型乗り合いタクシーなど地域に合った方法を考えてください。
97	都市基盤・防災・安全	公共交通	コミュニティバスは全市民に有益であり、また、高齢者にとっては死活問題です。青梅駅前の商店街の高齢のご婦人が言っていたのですが、八百屋などの小売業店がなくなり、買い物にいくにも大変、バス路線が廃止や縮小され、大変不便となったとのこと。コミュニティバスを利用して遊歩道巡りをしたり、病院、買い物、健康リフレッシュのための外出の交通手段にもなります。ぜひ、青梅市でも運行をお願いします

No.	基本方向	施策分野	意見
98	都市基盤・防災・安全	公共交通	交通の利便性が乏しい。成木・小曾木地区や市西部は公共交通のアクセスが悪く、タクシー運賃も山間部料金となっており高額である。諸外国のようにUberやGrabが利用できるよう特区を申請するなど国へ働きかけを行うべきである。また、南北の交通手段や空港へのアクセスを改善するため、周辺自治体と連携して国や公共交通機関に対応を要請していく。
99	都市基盤・防災・安全	公共交通	住民の高齢化などの影響もあり移動が、公共交通機関に依存せざる得ない割合が、年々増大する中で現状のバス電車では、利用できない地域や人が増大するため、抜本的な交通手段の拡充が必須です。例えば、小型で小回りの利く小型のバスを利用したコミュニティバスやデマンドタクシーなどの導入が必要になります。
100	都市基盤・防災・安全	公共交通	私が願う青梅市の未来はズバリ自家用車がなくても平気な町になってほしい。自家用車を所持して運転するにはかなりの経済力と身体能力が必要です。しかし当然ながらそのような人はごく一部であり、自家用車ありきでは多くの人は住むことができないからです。市役所の皆さん、明日から自家用車を使わないで暮らせと言われてたりますか？現在のバスは駅ばかり行き来する、市役所や大型商業施設はろくに走らない、系統が見分けつかない、駅やまちなかに案内が無いなどひどい様です。ぜひ公共交通協議会に一般市民を加え幅広く要望や改善点を募り、仕事、遊び、買い物、緊急避難等の際に自家用車がなくても、誰でも容易に移動できる街をなんとでも創り上げてほしいです。
101	都市基盤・防災・安全	公共交通	青梅駅以西の青梅線各駅は殆どが無人駅で階段の上り下りは高齢者には一苦勞、これでは電車利用がますます遠のく気がします。さらに沿線にはバスも走っていないので高齢者にとって外出するのが重い負担となります。そこで青梅駅以西の青梅街道にバス(コミュニティバス)を走らせてはどうでしょうか。電車が走っていない時間帯に走らせれば効果的です。さらに、バス停は無し、自由に乗り降り出来るようにする。また、施設などに所用で出かける際、行き先ごとのバス(コミュニティバス)を走らせることも高齢者にやさしいと思います。
102	都市基盤・防災・安全	公共交通	青梅線に中央線の特快の様な、駅を飛ばす電車があると便利だと思います。青梅駅前開発のお話に期待しています。狭い話になってしまいますが、私は二俣尾駅を利用しています。周りは高齢者が多く、駅ホームへの階段の上り下りがキツイ様です。日向和田駅の様な階段の無い駅だったら良いのにといつも思っています。新小金井駅の様な両側に家があっても階段の少ない駅だったら、高齢者の方も使いやすいのでは…。利用者が少ないので非現実的な意見ですが。
103	都市基盤・防災・安全	公共交通	河辺駅のまわりに、臨時改札口の増設をお願いいたします！東側か西側に、6:30 から 21:00 くらいまで通れる自動改札口がありますと、通勤通学時の混雑が緩和されて良いと思います。
104	都市基盤・防災・安全	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅線の青梅発着維持のため東青梅駅および踏切の改修</li> <li>・自転車の持ち込み可能な車両の導入</li> </ul>
105	都市基盤・防災・安全	公共交通	市内どこまで乗っても(1周しないかぎり)500円循環バス・・・せっかくの青梅の自然をすべての市民が享受でき、やたらに車に頼らなくてもエコに楽しく暮らすには、やはり市民の足は必要です。時間は少々かかっても、乗っていれば、市内どこでも行けるを実現。

No.	基本方向	施策分野	意見
106	都市基盤・防災・安全	公共交通	コミバスを一刻も早く走らせる。試験的にでもまず始めないと、ちっとも事が進みません。やりながら手直ししていけばいいのではないのでしょうか。
107	都市基盤・防災・安全	公共交通	この地区はバスも通ってなく、買い物に行くのにも不便です。今は自分で運転するが、免許証返納も考え中の身としては、交通手段のない事、駅前で購入できない事など、生活に不便を多く感じて先行き不安ばかり公共交通のミニバスやデマンドタクシーなど話ばかりで実現はまだなのか。
108	都市基盤・防災・安全	公共交通	青梅市はすでに高齢化率は30%を超えたと聞いています。高齢者の足の確保のため、コミュニティバスを走らせるなどの対策は欠かせないと思います。
109	都市基盤・防災・安全	公共交通	○「持続可能な公共交通」について 何はともあれ、即時の公共バス導入をやりはじめてほしい。
110	都市基盤・防災・安全	上水道	水道代が高すぎる。似たような立地の隣の羽村市と比べるとかなりの差。立地が悪いところに水道を通すからという理由にしても高すぎる。以前、羽村市との比較で青梅市は羽村市よりも数十億円も多く水道代を徴収していると計算で出せました。悪いことに使っているようにしか見えないので、適正な料金に下げて貰いたいです。
111	都市基盤・防災・安全	防災	現状の消防団組織で「防災体制の充実」と言っても少し手当を増額する程度と感じる。夫婦共働き化が進んでおり、このままでは防災力の大きな低下につながる。操法大会は取り止め、スキル内容を技術認定する制度化など実施。訓練には手当を出すなどへの移行で負荷感を減少する。 ⇒例文：◎消防・防災体制の見直しと充実
112	都市基盤・防災・安全	防災	ドローンを活用した山間部での災害救助、消火活動の推進
113	都市基盤・防災・安全	防災	防災減災対策としてハザードマップの整備と災害時の避難所の確保は、急務です。人口減少を理由に、近場の公共施設を廃止して避難所機能も削減していますが、真逆の施策となりかねません。気候変動による異常気象は人口減少とは関係なく、災害規模が全国各地で発生しています。青梅市の地理的条件から住宅地への災害懸念は年々高まっています。その為の避難計画と物理的な避難場所、施設が不可欠です。しかしながら、前記の通り避難場所、施設が削減されています。その上、人口の高齢化割合が高くなると移動手段と移動距離に制約が多くなり避難が難しくなる傾向が多くなっています。従って、住民の安全安心を確保する事は、行政としての最大の責務であります。
114	都市基盤・防災・安全	防災	計画的な林業振興による、自然災害防災強化

No.	基本方向	施策分野	意見
115	都市基盤・防災・安全	交通安全・防犯	自動車の運転手は住宅街の道路では自ずと人にやさしい走りをする民度の高い市であって欲しい。
116	都市基盤・防災・安全	情報通信基盤	5Gの整備など市内のデジタル化を進め、遠隔地診療やテレワークを推進するとともに、自治会の回覧や会議のデジタル化を進め、若年層が住みやすい環境を整備し、都心に行かなくても地元で生活できるテクノロジー都市を目指していく。周辺には豊かな自然環境があり、かつ歴史や伝統もあることから、街として十分魅力的であるが、テクノロジーについては著しく遅れている。図書館や自治会館などあらゆるところで無料のWIFIを整備するなどデジタル環境を整備していく。
117	伝統・文化・生涯学習	文化活動	文化的公共施設(市民会館=文化ホール)の早急な建設を望みます。
118	伝統・文化・生涯学習	文化活動	芸術文化の進行を図るためにも市民ホールの建設を急いでほしい。文化団体からの提案を是非尊重して。市民が集い、楽しめる施設が必要。
119	伝統・文化・生涯学習	文化活動	音楽堂がある。
120	伝統・文化・生涯学習	文化活動	羽村市の「ゆとろぎ」やあきる野市のキララホールの様な芸術鑑賞のできる立派なホールを作ってください。
121	伝統・文化・生涯学習	文化活動	1.文化条例の制定 2.文化体験の推進 各小中学校での生の舞台鑑賞
122	伝統・文化・生涯学習	文化活動	「あそび」を取り入れた郷土愛の醸成となっていますが、一部の地域に郷土愛を醸成することで人口増加、地域経済活性化、産業振興、そして住みやすい青梅を実現することに繋がるとは、思えないです。なのでこの文言は、削除が妥当します。
123	伝統・文化・生涯学習	文化活動	○「『あそび』を取り入れた郷土愛の醸成」について 「あそび」とは何かわからない。

No.	基本方向	施策分野	意見
124	伝統・文化・生涯学習	文化活動	<p>屋外での文化活動、特に音楽活動に開いた街づくりを望んでいます。都心からもアクセス良く、かつ自然に恵まれ広々とした環境は、スポーツや子育てのみならず生涯学習のフィールドとしても魅力的なロケーションであると感じています。コロナ禍においては、パフォーマンス（特に合唱や演劇など発声を伴うもの）は活動の制約を余儀なくされていますが、屋外空間の活用は新しい創造のきっかけともなる取り組みであると考えます。屋内での文化活動は、基本的に空間を仕切り遮断することで、参加者全員に同じ態度で参加することを求めてしまいやすく、その状況に順応できない人に対してはどうしても排外的になりやすい面があります。屋外空間を活動の場とすることが定着すれば、声を出すこと、姿勢を崩すこと、距離を取ることなど、比較的小さな参加の可能性が広がり、ユニバーサルデザインを取り入れた文化活動につながると考えています。参加の態度を強制しない緩やかなつながりが実現できれば、幅広い世代やそれぞれの抱える状況に開いた活動として、従来の集まりに躊躇していた人達にも参加しやすいアクションが生まれ得るのではないのでしょうか。ワンダーフォーゲルのように自然を楽しみながらの人々の交流には、食事や音楽があれば一層楽しさを増しますし、文化活動をオープンに楽しむ新しいモデルを生み出すことができるかもしれません。コンサートや合唱の集まりなどで「音を出す」ことに関しては、演奏自体に電氣的な拡声を行わなければ、スポーツ時の掛け声や観戦の発声よりも小さい場合も少なくありません。吹奏楽や和太鼓、バンド演奏など音量や規模の大きいものとの区分を明確にしたり、規模や時間帯などの規則を設ければ、近隣の迷惑になることも避けられると考えます。</p> <p>具体例としては、風の子・太陽の子広場「野外ステージ」を音楽活動などで利用可能とすることを提案します。以前はキャンプファイヤーなどで利用していたこともあったと聞きましたが、上記のように音量や規模、時間帯など新たに明確な基準を作ることで実現につながるのではないかと考えます。近隣住民との合意を丁寧に進めることと、内容の適切な制限と管理が行き届けば、音楽や演劇、ダンスなどの集いを屋外空間で実施し、自然を生かした文化振興の新しいモデルケースとなる可能性を感じます。大きなイベントのみならず、サークル活動など小さな単位での恒常的な文化活動が、キャンプ場や公園などで豊かな自然とふれあいながらできるようになれば、都市と自然の近い青梅ならではの文化形態が生み出せるのではないのでしょうか。生涯学習のフィールドとして活用されれば、日常生活の豊かさへとつながりますし、新しい発想のコミュニティの形が生まれるきっかけにもなり得ます。一定の基準を設けた上で屋外の文化活動が気軽にできるようになることを期待しています。</p>
125	伝統・文化・生涯学習	文化財	<p>過日、市民の推薦に青梅美術協会様より父を推薦していただいたようです。二俣尾の観清庵には何千枚もの絵が保管されております。青梅市で利用されてかまいません。青梅市立総合病院、りそな銀行、青梅信用金庫、をはじめ飯能の小中学校や図書館にも展示されております。</p>
126	伝統・文化・生涯学習	文化財	<p>高齢化により存続が危ぶまれる祭り、維持が厳しくなった神社仏閣の建物の保護</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
127	伝統・文化・生涯学習	文化財	青梅ならではの伝統文化の継承ではなく、青梅にある伝統文化の継承で必要十分です。
128	伝統・文化・生涯学習	文化財	歴史伝統を大切にしたい。
129	伝統・文化・生涯学習	生涯学習	誰もが携わる生涯学習とありますが、具体的なイメージが湧きません。
130	伝統・文化・生涯学習	生涯学習	行政と民間一体化による、新図書館における、年齢を問わない ITC 教育教室の実現。
131	伝統・文化・生涯学習	生涯学習	なぜ老荘大学はあるのに…。ヤンママ、ばあば、は？ 若かろうが、年をとろうが、男性であろうが、女性だろうが、一生学びです。分野べつならまだしも、参加者を限定するのはいかなものか？別に公的でなければ勝手だと思えますが。年寄にしか学びのチャンスはないのでしょうか？ 参加しやすくなる年代をターゲットにするなら、招待状くらいでよいのでは？
132	伝統・文化・生涯学習	交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山間部の観光都市として著名なザルツブルグ市を手本とした街づくりを進める</li> <li>・中間山間部を抱える都心近郊の都市、飯能、秩父、八王子などとの連携した施策の展開</li> </ul>
133	地域経済	農林業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣被害対策計画を策定。市山間部に侵入防止用のフェンスを順次設置</li> <li>・持続可能な山林とするため市内山林の杉ヒノキの立木の最低売却価格を設定</li> <li>・樹木を伐採可能な機械が搬入可能な林道の整備促進</li> </ul>
134	地域経済	農林業振興	環境保全と食とエネルギーの安全保障に向けた自給率の向上は、青梅市の地形や資源を活用して、自然農業の推進、地元野菜のブランド化、農業後継者を集める施策により農地の活用と空き家の活用で、新しい農業従事者、経営者の養成のできる仕組みの創出、そこで生産された農産物などを広く販売できる「道の駅」を儲ける。このことで周辺自治体(奥多摩、羽村、福生、瑞穂、あきる野、昭島)などと連携して地元野菜、加工品、酒類、などを毎日販売、提供が可能で地産地消が推進されて自給率が向上します。
135	地域経済	農林業振興	農業の振興がこれから食の安全保障観点からも必要不可欠です。従って有機農法などによる自然力を活かした農業が環境保全にも繋がります。
136	地域経済	農林業振興	これからは、食料とエネルギーの安全保障が最重要です。その意味で食料とエネルギーの地産地消による自給率の向上は、持続可能な経済と市民の生活基盤を支える基になります。具体的な提案としては「道の駅」創設です。農地を倉庫群にするのではなく、農業を活かした施設で農業後継者に育成を行う政策が必要です。特に農業後継者はしないだけでなく、青梅市以外からも来れるような仕組みの構築が重要です。空き家対策と農業後継者をマッチングさせて外部からの流入を促進させることで、移住者の定着にもなり人口減にも歯止めがかけられるチャンスとなります。

No.	基本方向	施策分野	意見
137	地域経済	農林業振興	農地を増やし、農業を盛り立てて欲しい。
138	地域経済	地域産業	地場産業の育成と小規模事業者などの支援の充実は、大企業が少ない青梅市としては地域経済を持続させる両輪です。
139	地域経済	地域産業	○「世界に誇る産業の生長」について 世界に何を誇るのかわからない。何よりも誰一人取り残さない、市民に寄り添った暮らしの支援・経済市政を実現してほしい。
140	地域経済	企業誘致・創業支援	人口減少の第一の要因は、地元魅力的な雇用先がないため若年層が都心部に流出していることである。このため、市内に新たな産業を育て雇用を確保していくことが必要である。具体的には市内に創業者を支援するインキュベーション施設を設置するとともに、工業団地などに新たに企業を誘致、また、青梅駅や御嶽駅周辺にホテルを誘致し、インバウンド観光客を取り込み周辺の飲食店など活性化させていく。更に、今後、10年間で名産品を10品目新たに作ることを市の目標と定め、コンテストなどを実施、アイデアを募り商品化を進める。
141	地域経済	企業誘致・創業支援	最近青梅市では物流センターが増え、トラックなど多く危険です。生産性のある企業誘致、また、都及び国の施設を誘致し、今以上、物流センタは増やさない。
142	地域経済	企業誘致・創業支援	大型スーパーや企業誘致して、働く場所を増やし、市民の所得増。
143	地域経済	観光振興	市中心街に魅力がない。かつては青梅駅周辺が宿場町として活況をみせていたが、現在は郊外の大型商業施設で買い物をするようになり、中心市街地は廃墟となっている。しかしながら、欧州や蘇州、北京、重慶などでは、かつても街並みを保存またはリニューアルし、観光スポットとし人気を博している。旧市街地をリニューアルし、観光スポットとして復元し、インバウンドの需要を取り込んでいくべきである。また、ホテルを誘致することで、宿泊滞在型の街として周辺の飲食店などの活性化を図り、街の灯を取り戻していく。旧市街地を活性化することで若者が立ち寄れる飲食店やファンション、雑貨店などが増えれば、定住者も増加していくと考える。また、永山グラウンドをラグビーやサッカーの公式試合が開催可能な2万人規模のスタジアムと改修する。駅からのアクセスがよいスタジアムにすることで観戦客を呼び込むとともに鉄道本数維持につなげていく。併せて、明星大学跡地をスポーツ公園とし市民のスポーツの中心地とする。
144	地域経済	観光振興	日の出やあきる野と比べると、市の収益が少ないので、収益をあげる事を考えるべきだと思います。林業での収益よりも、観光による収益を上げた方が良くと思います。檜原村を見習い、山には針葉樹ではなく紅葉樹を植えていき10年後には、紅葉での観光で収益は出ると思います。春は梅、夏は川、秋は紅葉、冬は雪景色と1年中観光収益が出来ると思います。 あきる野は、川を綺麗に保つように市が力を入れてますが、青梅の多摩川は不法投棄が目立つようになり、あきる野よりも市が力を入れてないのが、目立ちます。自然の景色にもっと力を注いでほしいです。

No.	基本方向	施策分野	意見
145	地域経済	観光振興	<p>&lt;交通アクセス&gt; 空港などへの高速バス路線の増便、青梅 IC への停留所の創設</p> <p>&lt;スポーツイベントの強化&gt; ・青梅マラソンのフルマラソン化、前夜祭の開催による観光客の集客 ・少年剣道、柔道などの武道大会の観光化によるインバウンド需要の取込み</p> <p>&lt;イベント開催による集客&gt; 梅まつり、青梅マラソン、青梅大祭、花火大会、産業観光まつりなどに加え新たに禁煙人気が高まっている柚子をテーマにした柚子祭りを開催しインバウンド需要の取込み</p> <p>&lt;周辺都市との連携の強化&gt; 三峰山を観光名所と抱える秩父市、高尾山を抱える八王子市、御岳山を抱える青梅市と三市で連携して観光客を誘致</p> <p>&lt;アグリツーリズムの推進&gt; イタリアのアグリツーリズムを参考とした農家民泊を推進</p> <p>&lt;河川の適切な利用&gt; ラフティング、カヌー、バーベキュー利用者には利用料を徴収、廃棄物処理費へ充当</p> <p>&lt;アクセシブルツーリズムの推進&gt; 無人駅のバリアフリー化</p>
146	地域経済	観光振興	<p>寺めぐりミニ観光バスや、各種観光地等、青梅の何軒かの病院の送迎バスに協力してもらい、青梅市民無料病院循環バスの誘致。駅と一体化の立体駐車場と駐輪場の増設。大型ショッピングモールとマンションの駐車場問題を解決するための立体駐車場の増設。観光青梅を拡充させるため、青梅駅構内のトイレと、外トイレの拡充。駅前に、防音設備完備の太鼓とお囃子、お祭りバント等専用のビルを！！現存あるところを防音設備投資。</p> <p>行政による芸術文化振興育成による収入増の為、万年橋から鮎美橋にかけてのエリアで、恐竜鉱物博物館を！！ロッククライミング施設を！！川遊びが、安全に楽しめるエリアを！！公民一体企業でも、民間でも、オッケー。青梅線沿線での Wi-Fi スポットの充実。</p>
147	地域経済	観光振興	<p>梅の公園に無料駐車場を用意してください。</p> <p>いつも車をどうするか悩みます。梅の時だけではなく、一年中自然が楽しめる場所と思います。たくさんの方が利用するためにもぜひ駐車場を確保してください。東の若草公園、西の梅の公園になったらいいと思います。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
148	地域経済	観光振興	私は長期計画(青梅駅前)で大事なのは、他所からの集客率を上げることだと思います。それは、祭りの日の賑わいを多くつくりだすことだと思います。青梅には60人くらいプロの陶芸家が住んでいるといいます。そこで、裏宿七兵衛さんにちなんで、「七兵衛焼き」という焼き物を創作してもらって、七兵衛地蔵の縁日である、4の付く日に七兵衛通り沿いに陶芸市を開催します(月4回)。陶芸は全国的に人気があるので、必ず集客率は上昇すると思います。陶芸家には、テーマは「七兵衛は義賊」(宗建寺の石碑の銘)ということで、自由に作品を作ってもらいます。テーマはあやふやな方が良いでしょう。JRに話をすれば、乗客率がアップするので、乗ってくると思います。七兵衛は足・腰の神様と言われているので、お寺で祈願した焼き物を売るのも一考だと思います。→TVは乗ってきません。キャッチフレーズは東のとげぬぎ、西の七兵衛
149	地域経済	雇用・就労	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業でのUターン・Iターン人材の積極雇用を奨励</li> <li>・育児と両立可能な職種の開発</li> <li>・高齢者を高齢者人材センターなどでの積極的活用</li> </ul>
150	コミュニティ・共創	地域活動	自治会の電子化(回覧版、防災連絡、会費徴収など)による負担軽減
151	コミュニティ・共創	地域活動	各自治会加入率が50%以上。 自治会センターを減らし、設備の充実を図る。
152	コミュニティ・共創	市民活動	現在ある地域ごと市民センターを存続させて下さい。
153	コミュニティ・共創	市民活動	地域の市民センターを存続させてください。 近くの図書館に読みたい本がなくても、リクエストをすると、取り寄せていただけます。とてもうれしいサービスです。勉強会に参加したり、体を動かしたり、種々のサークル活動に利用しています。近くにセンターがあることで、心身ともにいい影響を受けています。各地域にあることが大事だと思います。市民の意見を聞いて、さらに充実させてください。
154	コミュニティ・共創	市民活動	老化対策にコミュニケーションは欠かせません。市民センターの統合は白紙に戻してください。
155	コミュニティ・共創	市民活動	高齢者の向上心を育てる施設づくり。

No.	基本方向	施策分野	意見
156	コミュニティ・共創	市民協働	60歳以降の方々の社会参加の推進が生き甲斐創出につながるがそのような内容が見当たらない。「市民側からの自発的な動きを」と市側は言うが推進したい内容などが無いと市民側からは動きにくい。面倒と思わず、結果、みなに喜ばれやってよかったと本人が思う形を目指したい。 コミュニティ・共創⇒市民協働・コミュニティ・共創◎市民参加による活躍の場創出
157	コミュニティ・共創	市民協働	「特色ある学校作り」として、七小・六中が同一校舎で教育を行う小中一貫校の検討、特色ある学校に向けた教員配置、更に七小・六中・小曾木市民センターが同一建物で運用される地域拠点化の検討、地域の特色・地域力による教育環境の向上、市民センターの地域NPO運営化（再掲）
158	コミュニティ・共創	市民協働	30年後50年後を見据えた人育てや人と人のつながり合いを育て、行政と住民の育て合いができるまちを目指してほしい。「青梅＝行政と物言う住民の間に棲み続ける不信感の大きなまち」だから、当たり障りないことしか聞かない、本音は言わない。住民どうしも面倒な自治会は関わらないというのでは、いくら自然がすばらしくても長く住もうと思えません。公民館活動・地域と密着した公民館が機能していかないと、大人は簡単には変わらない。
159	コミュニティ・共創	市民協働	介護予防リーダーや子育て支援員など以外にも、ひとり1リーダー制くらいをめざして、地域に役割のある人育てを地域独自でやってみる。そのためにも公民館は大きな役割を果たすと思います。
160	コミュニティ・共創	市民協働	地域創造予算を組み青梅市全体でなくても、身近な地域ごとで行うのもよいと思う。機能不全のボランティアセンターや市民センターに変えて、地域密着の公民館が担うことで、より自分ごとにし、参加もしやすくなると思います。そしてコミュニティー・福祉や美化・自然を生かした活動・地域のお祭り・イベント創生にも有効と思います。
161	コミュニティ・共創	市民協働	発明家の生まれるまち・発明コンテスト まちの課題を発明で解決 川の水が足りない、木を切ったら切りっぱなしではもったいない、雑草とりに手がまわらない、生ごみなんとかならないか、などなど、課題みつけも解決にむすびつくかもと思えば楽しめる。
162	コミュニティ・共創	つながりの創出	<集いの場の設定> 青梅ボランティア・市民活動センターの拡充 ・相談できる場、交流できる場、ミーティングスペース、ワーキングスペースの充実 ・夜間の開館

No.	基本方向	施策分野	意見
163	コミュニティ・共創	つながりの創出	<p>青梅市文化交流センターたまぐーのあそびばコーディネーターとなって、3年が経ちました。青梅市が「あそぼうよ！青梅」というスローガンを掲げた時期と同じだったかと思います。コロナウィルスの感染拡大で、使用を余儀なくされた時期もありましたが、本当に様々な人たちの「あそびば」として青梅市民の方々にも浸透してきています。高齢者の方の趣味の活動、合唱・楽器演奏などの練習、市民活動団体の会合、ロビーには試験勉強をしにくる中高生、何となく遊びにくる小学生、ここに来れば何か楽しいことがやっているかもしれないとフラッと立ち寄る人もいます。あそびばでは、人の笑顔が生まれます。人との出会いが広がります。あそびは学びです。新しいことをやろうとするエネルギーが生まれます。昔の公園や山・川、地域の自治会館や神社など、どこにでもあった「あそびば」が今は意識的に作らなければできません。そして、あそびが生まれる仕掛けが必要です。文化交流センターで行われている様々な活動を横につなげることが大切です。様々な事業もそういった交流が生まれることをねらいながら、工夫をしてくれています。これからできるであろう新しい「市民ホール」が、「あそびば」の発信場所として、青梅市中のあそびをコーディネートしたり、どんな仕掛けをしていけばいいかを考えるハブのような役割をになってくれるといいのではないのでしょうか。そして、青梅市各地の市民センターや自治会館、公園や自然の場所、お寺や神社なども地域の色々な人が集い、「あそぼうよ！」と言い合えるまちになるといいなあと思っています。「あそぼうよ！青梅」に夢を託しての提案です。</p>
164	コミュニティ・共創	つながりの創出	<p>青梅市イベントスケジュールを作り。毎週、駅前をイベント会場に！！ネットでリンクさせて週末は青梅で！！を合言葉に、青梅市近くに、イベント広場を作り、文化芸能のお祭りで一年中楽しめる場所に！</p> <p>参加者は、青梅ファースト！！青梅在住！！青梅納税の人が優先で、参加できるようにして、他の人達も参加できるイベントに！！</p> <p>市民参加型の音楽イベント！ダンスイベント！ミュージシャン呼んでのイベント！イベントは、大きく分けて、二種類。無料のイベントで、テナント出店料をもらうイベント。有料イベントで、テナント出店料金ももらうイベント。？駅近くに、常設のイベント広場をつくる事で、一大発展につながります。</p> <p>ここでも、青梅市民ファースト！！有料イベントは半額もしくは無料で、入場できるように！！</p> <p>青梅市民が、ウキウキ、ワクワク、ラテン的に明るくなる事で、参加出来、一人ひとりが健康になり、医療と福祉が、楽になります。お祭り！イベントを通して、地域一体となり、国際化、ジェンダーフリー、等共生社会を自然と創る事が出来ます。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
165	コミュニティ・共創	見守り・支え合い	<p>私は、第7次青梅市総合長期計画基本構想骨子の基本理念である「多様性を認め合い、みんなが健やかに暮らせるまち」、まちづくりの基本方向である「コミュニティ・共創」について、以下のように思い、感じている旨を意見提出いたします。</p> <p>昨今、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、異常気象の影響、不穏な世界情勢により、様々な食品やライフラインの価格高騰も伴い、多くの人々が、他人にまで心を配る余裕がなくなりつつあります。隣家、近隣に越してこられた住民の挨拶も、近年は見かけません。他人との関わりをもつことに、安心感よりも、リスクや不安感の方が強く感じられる、時代の変化所以かもしれません……。</p> <p>現在、青梅市では、経済的にも身体的にも自立した高齢者以外の単身者は、家族の有無に関わらず、多くの住民が孤立しているように感じられます。社会的にも問題視されている孤独死を回避するためにも、不安を抱えて生活している一人一人が安心して年を重ねられるよう、居住地で区分けされている自治体とは異なるサポートシステムの見える化、このような案が組み込まれると心強い限りです。終活にしても、余命宣告されていない限り、全ての要件に着手することは困難です。いつ訪れるか予測不可能な未来に、安心して自身の身上を託すには、企業や一個人ではなく、確実に受け継がれる市で、サポートシステムや情報が入手出来る体制のように感じられました。</p> <p>誰しものが、安心して生活出来る未来に繋がるよう、祈念しております。</p>
166	コミュニティ・共創	多様性	<p>多様性を認め合い、みんなが健やかに暮らせるまちにするには、ジェンダーフリー社会の実現では、足りずLGBTを認める条例が東京都でも採択されており、勿論青梅市でも多様性を認め合うためにもLGBTは外せません。ジェンダーフリーだけでは不十分です。つまり、多様性を認めることは、取りも直さず基本的な人権を守るところです。そして、法の下に平等であることの証です。</p>
167	コミュニティ・共創	多様性	<p>多様性を認めても、放置するのでは意味はありません、日本語がよくわからない、発達障害がある、学習障害がある、家庭の事情で塾など行けないなど様々な子どもたちや大人の方にも、いっしょに考え発言できる機会をいっしょに作っていけるまちであってほしいです。支援という言葉は一方的で、人格を軽んじていないか？お互いを理解するためにも、お手伝いをしながら、発言や参加の機会を心して設けるべきです。家族ではないだれかとつながるチャンスのあるまち、いっしょにチャレンジできるまちに。</p>
168	コミュニティ・共創	平和	<p>平和意識の向上から平和憲法の意義を理解して平和な世界の実現に向けた青梅市としての取り組みの推進が求められています。世界連邦平和都市宣言と青梅市非核平和都市宣言を行ったことを踏まえて、戦争をしない、させないまちづくりが非常に重要になっています。平和意識の向上の結果から具体的な行動が求められています。</p>
169	行政経営・行政サービス	行財政運営	<p>中長期計画での行政複式簿記会計をして下さい。一過性ギャンブル収入増、激甚災害復旧資金基金積み立てが本来の姿 特別会計での病院然り、可視化した市民の為の税制運用です。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
170	行政経営・行政サービス	行財政運営	<p>基本理念、まちづくりの基本方針については、一見総花的で多くの地域でも使えるかな？とも思いますが、特段意見等はありません。言葉での表現も良いのですが、多くの市民と共有すべく、漫画・動画等でのイメージ表現も必要でしょう。</p> <p>懸念は、施策の実行とその変化に対する市民の実感です。まずは基本方針の各項目についてより具体的な落とし込み(ドリルダウン)が必要です。何をどうすれば・どうなれば『その項目は実現したことになるのか?』、KPI(キー・パフォーマンス・インディケータ)も必要でしょう。変化を数値表現する。難しいものは類推目標値の設定も検討し、アンケートも一考。各年度での変化(計画・実績)を可能な限り数値で表現すべきです。より具体的に各年度、前期5年、10年後(ゴール)の施策実施状況と姿を示すべきです(少なくとも前期5年までは)。また、各年度終了時の振返りも必要でしょう。いざ実施してみてもの変更・改善点も翌年以降に反映する。そこまで提示できないと、毎年同じことを並び上げ、言い訳と結果未達成が想像されます。</p> <p>また、重要なのは実施に際しての財源です。いかにして入金を増やすか? 支出を抑える(合理化・効率化)か? どう各施策に割当てるのか? この裏付けがなければ絵に描いた餅となります。当然、施策の見直しや優先度付けも必要となります。こちらでも計画と実績や振返りと以降への反映です。全体コーディネーター役と施策実施フォローや予算管理等の組織立った推進チーム作り(ミッションと権限明確化)がポイントです。</p>
171	行政経営・行政サービス	行財政運営	<p>行政の経営とサービスが一番大切??</p> <p>例えば、一番振り回される、クレーム処理には、クレームダイヤルを作り、人でなく機械に3分以内にクレームを録音してもらい、その後、一時間以内に回答するとか、ハードとソフトを考えての行政サービスのデジタル化等</p>
172	行政経営・行政サービス	行財政運営	<p>公営のギャンブル強化!! モーターボート競争事業収益確保。?山の観光地ならでの、猪やウリボウを使ったギャンブル場を新設して、収入増を!!</p> <p>青梅市全体を観光地化して、観光収入増。適正な有料公共施設配置して収入増。ここでも、青梅市民ファースト!! 青梅納税証明証を発行して、青梅市に納税してる人は、無料、もしくは半額で、利用出来るように。</p>
173	行政経営・行政サービス	行財政運営	<p>限られた予算で何をやる徹底総選挙、住民討議や、一人当たりいくらかかるを明確にして投票など(市民税を納めてない人には投票権はないなんていわないで、多様性を認め合い)、住民参加(子ども票も含め、参画を促す方策が必要と思います。みんなで決めて、進める計画に。「あそぼうよ! 青梅」というなら、計画策定から思いっきりはじめてもらいたい!</p>
174	行政経営・行政サービス	行財政運営	<p>これまでの基本計画を踏まえながら、青梅市の魅力をさらに高めるような内容を期待する。そのために、意思決定プロセスに市民が参加する機会をできるだけ幅広く、数多く設定してほしい。また、多様化する社会のニーズや、その変化のスピードに応じて、柔軟かつ迅速に対応できるような運営を求めたい。そのためには、(いわゆる『縦割り型』ではない)横断的な問題解決型組織編成が有効だと考える。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
175	行政経営・行政サービス	行財政運営	○「経営的視点にたった行政運営」について 「経営的視点にたった」とはどういうことかわからない。もし、行政がもうける視点にたち、市民にしわよせしたり、福祉増進の低迷をもたらすことになれば、本末転倒である。福祉増進に徹してほしい。
176	行政経営・行政サービス	情報発信	<各種媒体の利用> 紙媒体・子育て関連情報サイトの充実 子育て世代の移住・定住強化のための情報提供
177	行政経営・行政サービス	広聴・市民参画	青梅市の現状把握のためのアンケートの実施 例えば、青梅市の諸々のサービスで良いところ、改善すべきところ
178	行政経営・行政サービス	広聴・市民参画	山川に感謝し、日々暮らしている一住民。初めて書きます。それは、市・行政に改めてほしいことがあるからです。それは、市民との話し合いの極めて少ない姿勢、自らが市民の中に出向き、市民の日々願っていること、困っていることを知り、よりよい交流をつくることで、いつまでも青梅に住みたい。自由な生活、のびのびとした子どもたちの環境（教育・周囲の人間関係他）を整えることが見えてくるのではと思います。高齢者問題、まずは便利な交通を望んでいます。議会も時々傍聴しています。市町の答える内容もいかにも“何も考えられません”が見えてしまっています。全議員で真剣に急いで考えていただきたい。
178	行政経営・行政サービス	広聴・市民参画	子どもも意見を言える、言ったことは助けを借りながら必ず実行する・・・子ども議会・子ども提案まちづくりを！これぞ本物の総合学習では？社会にかかわるひと育てです。
179	行政経営・行政サービス	広聴・市民参画	7/12(火)のような「市民ワークショップ」を市内全域で、多数の箇所で行ってほしいです。(7/12は仕事の都合で行けませんでした。)よろしくお願いいたします。
180	行政経営・行政サービス	公共施設	・市営プールを釜の淵に統合、東原はスケートリンクとして整備 ・永山公園はラグビー・サッカーのスタジアムへ改修 ・明星大学跡地をスポーツ公園として活用 ・廃校となった施設をインキュベーション施設などに活用
181	行政経営・行政サービス	公共施設	市民サービスの劣化がはなはだしい。市民プールの取り壊しや使用とりとめが続くなら、代替えの施設をつくるべき。市内唯一の市民ホールを取り壊しておいて、跡地にどこにでもある会議室を作るなんていったいどのような考えをおもちか。周辺の市には必ずある温水プールも無し。市民に安く利用できるはずの温泉も割引無し。青梅市は市民サービスなんて初めから頭がないとしか思えない。こんな市長や議員なら即刻辞めてほしい。

No.	基本方向	施策分野	意見
182	行政経営・行政サービス	公共施設	青梅市は広いです。それぞれの地域にある、公共施設を充実させ、改善し、広く市民が利便性を重視し、使用出来るようにする。(コミュニティバスの運用)
183	行政経営・行政サービス	人材確保・育成	市職員に民間企業勤務実績のある人材の積極的採用、年齢制限撤廃
184	共通する視点	—	これから人口減少で税収も減少する中、市民が「自分のことは自分でやる」意識もより大切になると思います。その意味で「市民協働」もここに入れるべきと思います。
185	全般	—	現状特色がない！地理的優位性を活かしていない！大胆な選択と集中が必要！経済的な豊かさが諸問題を解決！
186	全般	—	青梅市にも複合施設や商業施設があれば便利だと思います。日の出イオンや村山ダイヤモンドシティのような。子育てについても自然豊かな青梅市。環境を生かした施設や公園、観光スポットの新設、拡大、整備。隣接地からも都心や関東圏からも来客や観光客も見込めるかと思えます。より青梅市は住みやすい、生活環境の整った市として見てもらえますし、人口減少にも歯止めをかけられるかと思えます。
187	全般	—	人口減少が気になります。若い人がいないと未来はありません。市として若い人が移住したくなるような政策を考える時だと思います。仕事・家を提供する、子どもに手厚い補助を出す(医療費・給食費無料など)、プレイパークを作る、など。早急に具体的に動き出す時です。
188	全般	—	まちづくりの基本方向の構成項目は単独で考えるのではなく、連携し相乗効果を創り出す、という発想が必要だと思います。例えば、「自然・環境・エネルギー」と「地域経済」では『水素を活用した(ゼロカーボンに向けた取組)農業振興(付加価値を生む農業の拡大)』に取組んでいる市内事業者もあります。今後の青梅市の発展には民間企業の知恵を積極的に活用することが重要だと思います。
189	全般	—	市民側から見て現在の青梅市(日本)で対応できていない部分は何だと思いますか？ 平成の約30年間を過ぎて令和に入った中で、少子高齢化が進むとともに若者の高給与での就業も難しくなり夫婦共働きが9割に変化、行政の予算も減少しました。そこへの対応としての、60歳以降の元気な方の社会参加の不足(生き甲斐の創出不足)、夫婦共働きに対応する子育てや社会政策の変更の遅延です。
190	全般	—	人口動態の統計を時系列に地域別に確認すると成木や小曾木、沢井地区などの人口減少、若年層流出、高齢化も急速に進んでいる。また、他の地区も東部の一部を除いて人口は減少傾向である。また、東芝、日立などの徹底により地域経済へのダメージも著しい。今後、10年でこうした傾向は一層強くなるものと予想され、過疎化、少子高齢化を食い止めるために早急に対策を矢継ぎ早に実施することが喫緊の課題である。

No.	基本方向	施策分野	意見
191	全般	—	街の活性化にはヒト、モノ、カネを呼び込むことが重要である。今後10年間で市にヒトモノカネを呼び込み、「産業の活性化による新たな雇用の創出、伝統文化とテクノロジーの融合をすすめる職住接近で住みやすい街 青梅」を目指した街づくりを進めて頂きたい。より具体的となり住民が一体となって取り組めるように構想を発展させていただきたい。
192	全般	—	観光、地域経済、プチギャンブル事業収益等、全ての行政事業と、リンク付けして、より良い自然と共存共栄の豊かなCITY 青梅をつくることとなると思います。
193	全般	—	青梅市のこういうところがいいね、と誰もが言えるものを身近にぜひ実現してほしい。注目されれば人が集まります。
194	全般	—	国は国の方針で、地方の実態もわからないままいろいろ言ってくると思いますが、地方自治は民主主義国家をつくるのには大事なことです。その住民が主人公という自覚が得られるよう、努力することが大事です。青梅市は自然豊かであることは一つの自治体の特色で、大事なことです。あちこち散策できる公園があることも大事です。子どもたちが自然の中でスクスク育つことも大事です。北欧は、「子どもは社会でみる」の精神で、子どもの環境、教育に公がお金を出します。働く時間も考えています。児童館、子どもの遊具、給食、クラブ活動、放課後も安全に過ごせるよう、公のおもいやりが必要です。若い人が住みついて、良かったと思える青梅市に、の視点で税金の使い方を考えてください。
195	全般	—	骨子を拝見し、ここに書かれているようなことが具体的に実現したら、青梅市はとても素敵な市になると感じました。「あそぼうよ 青梅！」という、青梅市民にも市外にも発信できるコンセプトに共感します。市民がもっと「青梅であそぶ」ことは、骨子にある健康・子育て・自然・伝統・文化・経済・コミュニティ形成、これらに広く寄与することだと思います。そして、これらに広く寄与する「あそび」は広い意味で青梅の「文化」そのものではないでしょうか。青梅の人や歴史、お祭りなど広くとらえた「文化」でよりよい市になり、「人が育まれる」。そのビジョンをきちんと定めていくために、文化条例を青梅市にも制定していくことを、今後骨子を実現する中身として提案したいと思います。多摩市は「みんなの文化条例」というものをつくったと拝見しました。市民みんなの文化条例を、市民と共につくりあえたら素敵だと思います。
196	全般	—	第7次青梅市総合長期計画(案)は読みました。内容は良いと思いますが、使う側にとって、詳細な取り組みや結果、評価などに参加する場合の入り口がわからない。例えば「自然・環境・エネルギー」の項は第2次環境基本計画にたどり着けば誰でも参加できるように、各項目毎に基本計画があるはずで。 「健康・医療・福祉」→○○基本計画・○○基本計画 「子育て・若者・教育」→○○基本計画・○○基本計画 のように、詳しい活動参加への入り口の計画、政策へ市民がたどりつける各項目毎に目次的なものが必要だと思います。

No.	基本方向	施策分野	意見
197	全般	-	<p><b>【基本理念】</b>  3つの基本理念には大いに賛同するところです。同時に、この理念の実現は「具体的にどのような施策をどのように実施するか」にかかっていると思います。</p> <p><b>【まちづくりの基本方向】</b>  当協議会では、2021年度に「青梅市子育て施策の提言～子どもの笑顔があふれる街を目指して～」として、青梅市長に宛て「提言書」を提出しております。その際、「第2期青梅市子ども・子育て支援事業計画「青梅市子ども子育て支援策の具体的な展開」における設定に照らし合わせ以下の7項目を「今すぐほしい」と考える社会的資源といたしました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、身近な場所での居場所（市民センター・自治会館の利用）</li> <li>2、話しを聴くスタッフと共感の輪がある学びの場</li> <li>3、日常的に心配事・困り事を相談できる機能</li> <li>4、コロナ禍で困窮する子育て家庭への支援</li> <li>5、地域の活動を支える市民活動やNPOを支援するシステム</li> <li>6、自治会と共存できる新たな地域のネットワークコミュニティ</li> <li>7、子育てや子どもたちが安心できる地域があることのPRを行い実際の環境や居住スペースなどの魅力を伝えるツール</li> </ol> <p>今回の【まちづくりの基本方向】として「8つの項目」が挙がっていますが、基本的に当協議会が目指す「わが街青梅、こうなったらいいな・したいな構想」と合致していることを嬉しく思います。</p> <p>ただし「8つの項目」は、どれも単独で目標を達成することは難しく、それぞれを柔軟に「つなげ・連携させること」が実現への第一歩と考えます。そのための行政・NPO 団体をはじめとする市民活動団体・地域団体・企業による横断的連携の遂行をお願いいたします。当協議会では「私たちのできることで協力したい。協働していきたい！」との強い思いがあります。</p> <p>行政内での連携の一例として、来年度の「子ども家庭庁」設置に伴う市の動きとも関連があるかと思いますが、乳幼児・児童・中高生に関する全てを統括する「子ども専門部署」の設立に向けた最初の取り組みとして、全ての「子ども」に関わる問い合わせを受ける「総合窓口」を設置し、内容に応じ担当部署に振り分け繋げる体制を整備していただきたいです。</p>

No.	基本方向	施策分野	意見
198	全般	—	<p>長期計画。ほとんど実行実現されてきていない計画のことですよね(第1次)。誰がどこでたてたのか、人口25万人を目指すとか…??無責任というイメージです。また、最上位の計画ですから、網羅的なことを書かざるを得ない…このことは理解しますが、当たり障りない、全国どこでもある文言がならんでいて、興味がわからない。かつては、縦串、横串とかいう表現もあったような、果たして横ぐしはとおったのだろうか???プラットフォームはできたのでしょうか?</p> <p>「総合長期計画」があることを知っていますか?という、小ばかにした問いを投げかける前に、これまで総合長期計画が果たしてきた役割や、成果など、少くからいふれて、理解し、身近に感じてもらうための努力のかけらが全くみられないのは、失望です。</p> <p>とりあえず、過去はどうでも、ご意見をお聞かせください、前向きな意見がでてくるとお考えなののでしょうか?むしろ、「ここがうまくいかなかった、でもなんとかしたいが…」とか「これについては、前進してここまでできたが、あと何が足りないと思いますか?」「これについては手つかずだけれども、どうでしょう?」「過去にこんなご意見も寄せられました」など、良かったこともできなかったこと洗いざらい表に晒す勇気が最もかけているのでは? 10年たてば何もかにもチャラにしてしまう「市」では、どんな計画を立てても、机上の計画で立てることに意義ありだけのものと思われても仕方ないと紙面を見ていると感ずます。</p>
199	全般	—	<p>策定方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単発のパブリックコメントだけでなく、検討会?の公開、市民参加(オブザーバーでも)または、通年のワークショップなどで、市民が参加して作る総合計画にしてほしい。</li> <li>・策定後は市長が動画でHPにて想いを語ってほしい。毎年、取り組み・進捗・課題を市長が報告することを定例とする。</li> </ul>